

音楽はCDでも聞きますが、絵画や彫刻は画集ではなく実物を見たいと思います。旅をするると各地の美術館や博物館に行くのが楽しみです。

画家では、ミロとクリムトが特に好きです。ミロは小学生の時、大阪万博で見た壁画から好きになり、その抽象的
でいてユーモラスな絵が非常に印象的でした。クリムトは大人になってから好きになりましたが、少し廃頹的はびたいたいで妖艶あやうえんな人物画が好きです。

日本の博物館では大阪万博跡地にある国立民族学博物館が私のイチ押しです。アフリカなど世界の仮面のコレクションは一見の価値あります。

生人形

一筆



熊本赤十字病院
形成外科部長

黒川 正人

2020.6.17

熊本では、生人形いきにんぎょうに驚かされました。安本亀八やすもとかめはちの相撲生人形は「3Dスキャナー」のない時代にもかかわらず、人間の動いている筋肉まで表現あらわしていて鳥肌が立ちます。最初はテレビで見たのですが、本物を見ると圧巻でした。このような芸術が熊本で生まれ、熊本に保存されているのは素晴らしいことです。

私たち形成外科医も美術的なセンスは重要です。特に乳がんの乳房再建は、病気で切り取ったものを再建する手術

ですが、できるだけ元に戻したいと思って手術します。手術には、自分の筋肉や脂肪を胸に移植する方法と、シリコーンの人工乳房を埋める方法とがあります。

おなかの脂肪を胸に移植する時には、顕微鏡で見ながら数ミリのおなかの血管と胸の血管を、髪の毛よりも細い糸で縫合します。細かい作業ですので時間がかかります。一方、人工乳房は手術時間は短く他を傷つけない方法ですが、形には制限があります。